

ふくだより

2013年
第13号

❁ あいさつ

こんにちは。池黒のでんきやさん
「パナックふくち」の3代目、鈴木大助です！

暑い日が続きますね～❁
今は気持ちのいい晴れですが、梅雨の湿気が入ってくると
もたもたしてつらくなりそうです。とは言っても、畑には大事な雨なので
もうそろそろ降ってくれることを願いつつ、このお便りを書いています。

この分だと、今年はいつもより暑い夏になるのかしら？



❁ おべんともち

定休日の水曜日、幼稚園が11時降園の
日だったので、3人で「おべんともち」して
きました。

どこでお昼しようか探したところ、あの橋の
下で食べよう！ということに。

ばあちゃんが作ってくれたお弁当を広げ、
みんなで、いただきます！
「外で食べるとおいしいねえ」なんて言い
ながら、もりもり食べました。



川を見ると魚がいっぱい泳いでいて、長男の蛍助は
大興奮。妹の美花も負けずに「おさかなつりする！」
と2人で近くに生えていた草を川に投げたり垂らしたり
して遊びました。

夕方、花公園に行こうと車に
乗ったらほんの10分で眠って
しまった蛍助。お魚が釣れた
夢でも見てるのかな？
いつか、お父さんと織機川に
魚取りに行こう！カジカっていう
変な魚を見せてあげるよ。



❁ おかげさまで創業65周年！

ご案内の通り、パナックふくちは今年で創業65周年。
長年に渡るお客様のご愛顧に心より感謝申し上げます。

記念の**大創業祭**も開催しますので、今回は、お店の
今までを振り返ってみたいと思います。



カ道山：祖父ではありません(笑)

創業者である鈴木米次は、僕の祖父です。
池黒で「福智ラジオ店」を開業する前は、海軍に
いたそうです。一緒にお風呂に入ると、いつも
最後に軍歌を歌っていたのを思い出します。
ゴカ・コーラ好きのアメリカ嫌いで、プロレスと
相撲をこよなく愛す、僕の大好きなおじいちゃん
でした。

創業当時からお付き合い頂いているお客様と
お話ししていると、「カ道山」のテレビを見たと
いうお話をよく聞きます。昔は銭湯が当たり前
で、銭湯帰りに店頭のテレビをみんなで見た
んですって。当時は竹内菓子店さんの店先を
お借りして営業していました。



店内にて：祖父と祖母と母



店頭にて：父と母と僕？

2代目店主の鈴木和助は、現社長で僕の父です。
宮内生まれで電機重電メーカー勤務後、婿入りし
ました。無口な祖父が「真面目で誠実な青年」と
嬉しそうに婿自慢していたとお得意様に聞いたことが
あります。

父と母は、夫婦二人三脚で商いに邁進し、今日
のお店の基盤を築いてきました。30～40代の頃は定
休日もなく、夜9時とか10時に商談でお客様宅に訪
問するなど休みなく仕事をする時代だったそうです。

そして、昭和49年12月に僕が生まれます。赤ちゃんの僕を1つ年上の
姉が「だいちゃん」と呼んだから「大助」と付けたいです。

現在、3代目として僕がお仕事をさせてもらうことができるのは、長年
お付き合い頂いておりますお客様あってのこと。その信頼に応え続けられ
るよう、今後も精進して行きたいと思っております。

❁ 編集後記 ❁

創業65周年という記事を書いている時に気づきました。父は僕を釣りや山や海に連れて行ってくれ遊び方を
教えてくれました。自分が父親になってみると、子供たちと接する時間のまあ少ないこと！父は仕事人間と思っ
ていましたが、一生懸命時間を作ってくれていたことに今頃気づいたんです。お父さんありがとう
という事で、今回もよろしければご意見・ご感想をお寄せ下さい。大創業祭、ご来店お待ちしております！